

YOKOHAMA Station City で不用衣類の回収キャンペーン第3弾を実施

特典として YOKOHAMA Station City 内の施設で利用できるクーポンを進呈※1
「SDGs 未来都市」横浜市の中心、横浜駅から SDGs に根差したエリア価値の向上を推進

開催期間:2021年11月27日(土)・28日(日) 2日間

YOKOHAMA Station City 運営協議会(会長:東日本旅客鉄道株式会社 執行役員 横浜支社長: 照井 英之)は、2021年11月27日(土)・28日(日)の2日間、不用衣類を回収するキャンペーンを日本環境設計株式会社と協力して実施いたします。2020年度に本キャンペーンを2回実施し、今回は3回目の開催となります。

上記期間中、YOKOHAMA Station City 内の会場※2にご不用になった衣類をお持ちいただくと、各日先着3,000名の方に衣類1点につき「500円分のクーポン」1枚を進呈します※1。クーポンは YOKOHAMA Station City 内の施設で利用でき※3、お一人さま2枚までの進呈となります。クーポンの配布は予定枚数に達し次第終了となりますが、回収時間内は不用衣類の回収を実施いたします。

キャンペーンを通じて回収した不用衣類は、日本環境設計株式会社の持つ独自の技術“BRING Technology”によって、ポリエステル繊維(樹脂・糸・生地・服など)にリサイクルされ、まだ着られるもの、使えるものは寄付やリユースされます。ポリエステルは、何度でもリサイクルできるケミカルリサイクルを通じて、持続可能な資源になり、新たな衣類の原材料へと生まれ変わります※4。

JR 東日本グループは、ESG 経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組んでおります。YOKOHAMA Station City では、このキャンペーンを通じて、エリアの価値向上に取り組んでまいります。

また、不用衣類と引き換えに進呈したクーポンを YOKOHAMA Station City 内の施設でご利用いただくことで、多くのお客さまにエリアの魅力に触れていただきたいと思います。



不用衣類の回収キャンペーン キービジュアル



不用衣類の回収キャンペーン 前回の様子

※1: お一人さま最大2着までお持ち込み可(クーポンはお一人さま最大2枚までの配布)。

※2: 今回は「JR横浜タワー アトリウム2階」のみとなります。

※3: 1会計につき税込3,000円以上で1枚、税込6,000円以上で2枚、1会計につき最大2枚まで利用可。

※4: ポリエステル以外の原料も可能な限り資源にまで再生しています。

不用衣類の回収イベント開催概要

開催期間: 2021年11月27日(土)・28日(日)

クーポン利用期限: 2021年11月27日(土)～12月31日(金)

回収場所: JR横浜タワー アトリウム2階

回収時間: 各日とも10:00～17:00

概要: 衣類回収ボックスにご不用になった衣類をお持ち込みいただくと、各日先着3,000名の方に、衣類1点につき「500円分のショッピングクーポン」1枚を進呈します。クーポンは、YOKOHAMA Station City内の施設でご利用いただけます。お一人さま2着まで(クーポン最大2枚まで)。

クーポン利用条件: 対象施設にて、1会計につき税込3,000円以上で1枚、税込6,000円以上で2枚、1会計につき最大2枚までご利用可能です。

クーポン利用対象施設: ニュウマン横浜、シアル横浜、シアル横浜アネックス、JR東日本ホテルメッツ横浜、ルミネ横浜、エキュートエディション横浜、T・ジョイ横浜、gooz JR横浜タワー店

※一部、ご利用いただけない商品やサービスがございます。

※下記の店舗ではご利用いただけません。

ニュウマン横浜(ティファニー)

シアル横浜(NewDays、つけめんTETSU)

ルミネ横浜(シャネル フレグランス&ビューティ、よこはま駅ビル眼科、朝日カルチャーセンター)

主催者: YOKOHAMA Station City 運営協議会

YOKOHAMA Station Cityの「持続可能な開発目標(SDGs)」への貢献について

JR東日本グループは、ESG経営を実践し、事業を通じて社会的な課題を解決することで、地域社会の発展と国際目標「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に取り組みます。

具体的には、「安全」が経営のトッププライオリティであることをグループ共通の理念として掲げ、すべての事業の基盤であるステークホルダーの皆さまからの「信頼」を高めるとともに、「ヒト(すべての人)の生活における『豊かさ』を起点とした社会への新たな価値の提供」に向け日々の挑戦を続けていくことで、「持続可能な社会」とグループの持続的な成長を実現していきます。

YOKOHAMA Station Cityは、SDGsに根差した活動を通じて、新しい価値の提供とエリア価値の向上に取り組んでまいります。なお、この度の取り組みは、SDGsにおける下記3つの目標に貢献しています。



目標9 強靱なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る

目標11 都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする

目標12 持続可能な消費と生産のパターンを確保する



JR東日本グループのSDGsの達成に向けた詳細: <https://www.jreast.co.jp/company/csr/>